

農業土木分野に関する実務経歴書

氏名 \_\_\_\_\_  
住所 \_\_\_\_\_  
指導業務者氏名 \_\_\_\_\_  
資格名 \_\_\_\_\_  
登録番号 \_\_\_\_\_  
指導業務者役職 \_\_\_\_\_

証明者 機関の住所 \_\_\_\_\_  
機関の名称 \_\_\_\_\_  
代表者の役職、氏名 \_\_\_\_\_ 印

勤務先が変わった場合は、前勤務先における実務経歴を含め、現在の勤務先の代表者の証明を受けてください。

指導業務者の氏名、有資格名、登録番号役職名を記載します。複数の者になる場合は、最後の業務の指導業務者としてください。

勤務先名	業務内容	実務期間	左の内 指導業務者 の下での 実務期間
〇〇測量設計(株)	〇〇県営土地改良区用水路 ほ場整備基本計画他5件	平成22年度	
}	省略		
【記入の際の注意事項】			
①実務経験は1欄に1ヶ年分を記入し、 <u>実務期間が7年以上あることを分かるように記入してください。</u> また、可能な限り新しい実務経歴を優先してお書き下さい。(書ききれない場合は、複数枚に記入してください) ②実務期間の合計年数を受験申込書(様式1号)の実務経験年数に記入してください。(実際の実務経歴年数の合計) ③業務名で「農業土木分野の事業」であることや「業務内容」が判別し難い場合は、発注者(部署)および主たる業務の内容が分かるように記入してください。			
		平成25年度	平成25年度
		平成26年度	平成26年度
		平成27年度	平成27年度
		平成28年度	平成28年度
		計 7年	計 4年

実務経歴がスタートした年。  
大学院修了者は、大学院、専攻コース、修了年を1行目に記載してください。  
本記入例では、「省略」期間を除いた7年間の実務経歴と業務指導者の下での実務期間が記載されている。

実務経歴が7年以上ある場合でも、業務内容により経歴として認められない場合があることを想定して、多めにご記入ください。

入社してから昨年度までの実務経験年数

〔記載上の注意〕  
・この書式は、公的に証明を求めないものは無効とする。  
・実務経歴が7年以上ある場合でも、業務内容により経歴として認められない場合があることを想定して、多めにご記入ください。  
・大学院修了者は、大学院名、専攻コース名、修了年を1行目に記して下さい。  
・(用排水施設整備、農地整備、農道整備、農地防災保全、農業土木に関する事項)の事業に関する調査、計画、設計の実務経験です。  
・そのうち指導業務者の下で実施した業務の実務に従事した年数を申込書の実務経験年数と同年数を記入)。